

* JOB NO. *

放射線量の測定

29 放射線取扱主任者

職場ではこんな人も働いています

- 放射線管理員
- 土木作業員
- 重機オペレータ
- 誘導警備員
- 事務員

この仕事のキーワード

- 復興
- サーベイ
- 空間線量
- 廃炉
- 中間貯蔵施設
- 放射線

こんな人に向いています

- コツコツ作業ができる人
- 細かな作業が得意な人
- 地元愛がある人
- 自身で考え、行動する人
- 働く仲間とコミュニケーションがうまくとれる人



お客様と地域とともに、復興を後押しする会社です

東日本大震災と原発事故からの復旧・復興の道を歩み始めた浜通り。私は、福島県内の除染で発生した土壌や廃棄物を一時保管する中間貯蔵施設で空間線量率の測定を行っています。1ヵ所で5ポイント、1週間で区域内90ヵ所を回り、値に大きな変化がないかを測定します。震災前の状況に少しずつ戻っていくことを間近に感じながら、使命感を持って取り組んでいます。1年間無事故で業務をやり遂げたときに、自身の成長が感じられました。

入社7年目 相田さん

私がこの仕事に就いたきっかけ

以前は東京に住んでいましたが、東日本大震災で福島県が大変な状況になっていることを目の当たりにして帰郷を決意。自身の故郷を震災前の環境に戻したいという気持ちを抱いていたときにこの仕事のことを知り、挑戦してみようと思いました。

放射線取扱主任者の仕事内容

朝礼・危険予知

朝礼では、その日の作業内容を説明。川辺や山中などで測定する場合もあるので、その作業に潜んでいる危険を作業員へ周知・共有します。



測定作業

空間における時間当たりの放射線量を測定したり、帰還困難区域から外に出る時に車両や身体汚染検査を行ったりします。測定にはそれぞれ専用の機器を使います。



データ確認

数多くの施設を巡るので、測定に漏れがないか、測定結果に大きな変化がないかを過去13週分のデータと見比べて確認します。



データの作成・報告

測定したデータを入力し報告します。データは「安全に貯蔵されていることの証明」でもあるので、間違いがないように注意して作成しています。



必要な資格・スキル

- 第一種・第二種放射線取扱主任者
※資格がなくても線量を測定することはできます。
- PCスキル (Excel)

株式会社アスム

いわき市小島町1丁目4番11号 TEL/0246-85-0523
創業/2014年3月 従業員数/80名
支社/富岡事業所、石巻営業所



株式会社アスムではこんな仕事をしています

空間線量測定

復興が進む中で、帰還困難区域内で新たに作業を始める事業者などへ、現在は時間当たりどれくらいの放射線量が、どのような装備が必要かなどの情報を提供するために空間線量率を測定します。



車両汚染検査 (車両サーベイ)

帰還困難区域内で作業をした車、ダンプカーなどは、そのまま外には出られません。タイヤや荷台が汚染されていないか測定を行い、安全を確認しています。



身体汚染検査 (身体サーベイ)

帰還困難区域に入った人も外に出るときは手のひらや靴の裏、頭などの汚染検査を行います。滞在時間などにかかわらず、全員行うことで安全を証明しています。



給食の食材の放射性物質検査

いわき市内7つの給食センターから翌日の給食に使う食材を預かり、測定器にかけて放射性物質検査を実施。不検出を確認してから給食として提供されています。



小学校のトイレ洋式化工事一式を贈呈

社会貢献活動の一環として、いわき市立久之浜第一小学校の放課後児童クラブで使用しているトイレと、いわき市立平第六小学校の低学年用トイレの洋式化工事の一式を寄付しました。株式会社アスムは、福島の未来を担う子供たちが、明るく楽しい学校生活を送り、世界に誇れるふるさと・福島の担い手となってくれることを願っています。

